われらが母校！！

北九州市立菅生中学校通信　その１６　文責　田中彰一

○苦楽をともに

「アリがナイル川を渡る」というお話を知っていますか？
とても小さなアリが、とても大きなナイル川を渡るなんて驚きます。
もちろん、体の小さなアリには一人で渡ることなんて、できません。
あっという間に流されてしまいます。
ここで、アリたちは知恵を使います。
みんなで力を合わせて「球」になるのだそうです。
でも「球」になったからといって簡単に渡ることはできません。
その「球」をグルグル回しながら進んでいくのです。
水中に沈んでいる時間と浮いている時間が交互にやってきます。
つまり、それぞれが苦しい時間と楽な時間を共有しているのです。
この発想は素晴らしいです。
このお話は私たちの学校生活にも置き換えることができます。
いよいよ体育大会が近づいてきました。
運動が得意な仲間もいれば、そうではない仲間もいます。
それは、それでいいのです。
一生懸命に自分のベストを尽くすだけです。
それぞれが自分の役割を果たしていくこと。
そして集団のために一人一人が苦楽を共有すること。
それができたなら、きっと体育大会は大成功となることでしょう。
抜群のチームワークで「われらが母校」の底力を発揮してください。

○見通しのある学校生活を

体育大会の練習に取り組む日々が続いています。
天候や体調管理と戦いながら頑張っています。
前向きな皆さんの姿勢は素晴らしいです。
ただ、体育大会が終わると月末には中間考査が待っています。
そのことも忘れないでください。
何事においても準備不足を当日は決して待ってはくれません。
日頃から地道に積み重ねておくことが大切です。
文武両道といいます。
勉強も運動もベストを尽くさなければなりません。
中学校生活は忙しいですが、どうぞ欲張りに成長してください。